



制作：名城大学薬学部 病態解析学Ⅰ・E  
プロ(中村真理子、武藤利奈、野田幸裕)、  
薬品作用学(間宮隆吉)  
監修：NPO J-DO(鍋島俊隆)

平成30年9月22日(土)名古屋市立表山小学校にて  
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」  
「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」の出前授業・Eプロを開催：  
特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)と共催

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生にも「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下に行っています。今年度は名城大学 Enjoy Learning プロジェクト(通称：Eプロ)の薬学生と共に行うことになりました。

名古屋市天白区表山学区連絡協議会 青少年育成部会の大島ひさこ様、名城大学薬学部高谷芳明准教授のご尽力により、平成30年9月22日(土)、名古屋市立表山小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」を下記の内容にて開催しました。当日は、小学生2~5年生5名、大人14名がくすりについて学び、「色が変わる実験が楽しかった」「また実験をやりたい」と大好評でした。Eプロとしては4回目の開催となりました。



名古屋市立表山小学校における「くすり教室」

日時：平成30年9月22日(土)10時00分~11時10分

場所：名古屋市立表山小学校 特活室

内容

・「実験を始める前のお話」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。学部5年の武藤利奈がスライドを使ってわかりやすく説明し、小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。また大人からも多くの質問が寄せられました。

・「体験実験」

学部5年の中村真理子がスライドを使って実験の説明をする中、参加者は4グループ(1グループ4~5名)に分かれ、内容をより理解できるように、鍋島俊隆先生(NPO J-DO 理事長)、名城大学薬学部 野田幸裕教授(NPO J-DO 副理事長)、間宮隆吉准教授(NPO J-DO 理事)、薬学生(病態解析学Ⅰ 4、5年生8名)が補助しながら、体験実験を行いました。

<実験項目>

1. コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ?
2. 水がなくても飲める薬があるのを知ってる?
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの?
4. 「うがいぐすり」でうがいした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの?



## 名古屋市立表山小学校における授業

### 「乱用薬物には絶対手を出さない！」

日時：平成30年9月22日（土）11時10分～12時00分

場所：名古屋市立表山小学校 特活室

内容

- ・「乱用薬物には絶対手を出さない！」：講義

どのような薬がドラッグとして乱用されているか、薬物乱用はどのように怖いのか、乱用されているくすりの正しい情報、薬物乱用者の実態、薬物乱用に対してみんなができることについて、野田幸裕教授がスライドを使用して分かりやすく説明しました。講義中には、「タバコによって成長はどうなってしまおうのだろう？」については連続写真を用いて、「お酒を飲むと脳の細胞はどうなってしまおうのだろう？」「シンナーを吸うと体はどうなってしまおうのだろう？」については各グループにおいて薬学生による実験を行い、薬物乱用の恐ろしさについてしっかりと視覚的に理解が深められました。

